

祝儀の飾りもの

「宝菜山」と「弁慶」

くらしの中の祭り ⑥

春の奉射講のとき、祭神の掛軸とともに、祝儀の「宝菜山」が飾られます。これは、正しくは「蓬菜飾」と呼ばれるもので、三方の盤上に白米を盛り、中国の伝説中の靈山である蓬萊山に見立てて、その上に松竹梅と鶴亀とが飾られます。

一方、大総地方において、「弁慶」と称される一種の神饌が供えられるのも、祝儀の飾りものとして捉えることが



蓬菜飾 (2月1日・海保氏奉射)



弁慶 (2月20日・牛熊男奉射)

できます。これは仁王立の弁慶のように、割竹のクシに焼豆腐や海藻を刺して、福俵に飾るもので、神事のあと、人々はこれを戴いて家に持ち帰ります。また、牛蒡の湯通しを、細の目に切り、トウガラシ味噌をつけて、クシ刺しにする場所もあります(姥山地区)。

そのほか、春の予祝行事には、大根汁と煎糰(ハネリ・ハネコ)が付きものでした。ほとんどが自家生産の野菜であり、冬から春への季節に、ミネラル・ビタミン類の摂取を促すものであったものと理解されます。

こくほQ&A

12

お年寄りの医療

Q 今月の15日で満70歳になります。70歳からは老人保健で医療を受けるそうですが、今月から受けることができますか?

A 老人保健によって医療を受けるのは、満70歳になる月の翌月からです(1日に満70歳になる人はその月から)。



70歳以上(寝たきり等の人は65歳以上)になると、「老人保健」でお医者さんにかかることとなります。これは、国保の被保険者、あるいは職場の健康保険の被保険者や被扶養者すべてに適用されます。

国勢調査

10月1日

ご協力を
お願いいたします



10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は、大正9年から5年ごとに行われ、15回目にあたる今回は、特に21世紀の日本を考える基礎づくりという重要な意義があります。

市区町村が、これからの行政を考えていく大切な資料となり、わたしたちの暮らしのさまざまな分野で生かされます。赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての方が調査の対象となります。9月下旬に、世帯ごとに調査票

を配布します。アパートなどに一人で暮らしている方、下宿している方は、未成年でも学生でも、世帯主としてご記入ください。調査票にある質問は22項目。お答えいただいた内容を統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。安心して、ありのままをご記入ください。調査票は後日、調査員が集めに伺います。外出がちな方は家にいらっしやる日をお伝えください。みなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。